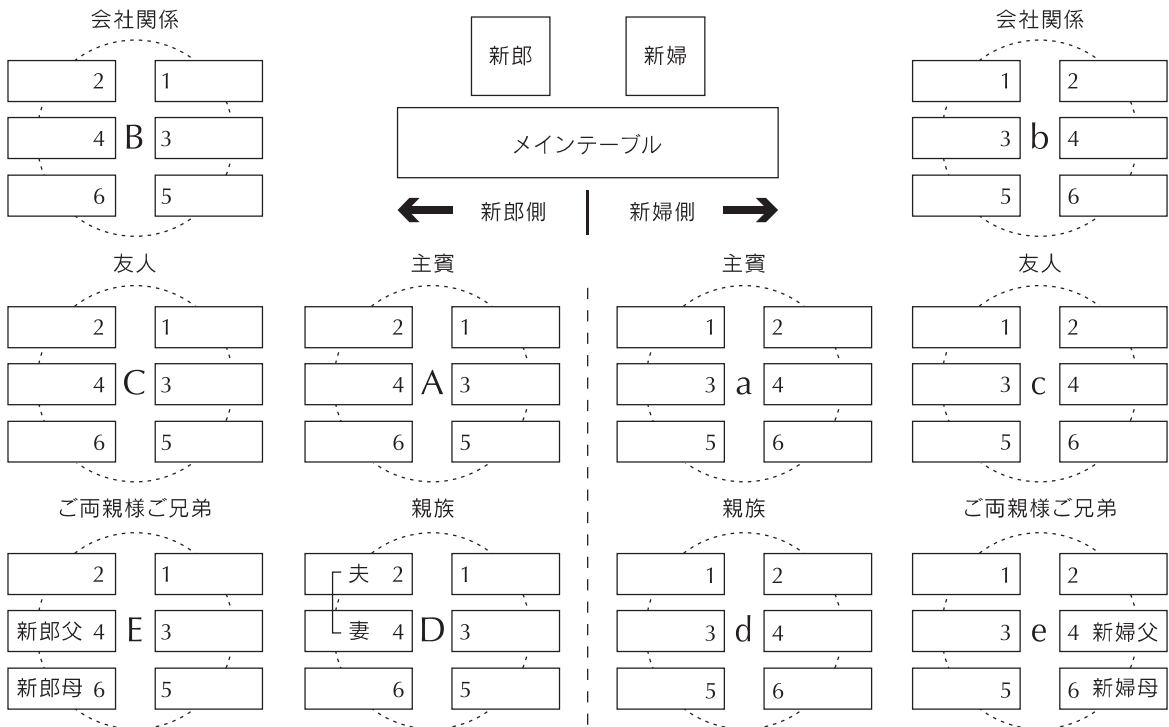


GUEST NAME 席次表の作り方 BOOK

席次表はダウンロードされたゲストリストより作成することができます。
<http://www.novarese.co.jp/guestlist.htm>

席次表原稿は2ヶ月～1ヶ月前前までにご提出ください。メインテーブルに向かって左側に新郎様側、右側に新婦様側の出席者が並びます。メインテーブルの新郎新婦様に近い席ほど上席になります。上順位の席から、ご主賓、ご来賓、ご友人、ご親族、ご兄弟ご姉妹、ご両親または親代わりの方、の順にご作成ください。ご両家様のご出席人数のバランスが取れない場合は、双方でお話し合いの上、ご友人同士、ご親族同士をテーブルにまとめられてはいかがでしょうか。披露宴が和やかな雰囲気になるために、旧知の方などを中心に考え配席してください。6名以上の配席になる場合もありますので、その注意書きも添えてください。



※ご夫婦は上座にご主人、下座に奥様となります。席次が手作りの場合、製作時にコーディネーターに確認願います

ゲストリストの入力方法

必要卓数をコーディネーターにお知らせください。卓数に合わせたレイアウト表をお渡し致します。レイアウト表を確認しながら、ゲストリストにご入力ください。

テーブル	席No	お名前	肩書き	肩書き選択
A	1	山田太郎	(株)〇△商事社長	
A	3	山田花子		同令夫人
B	1	鈴木一郎	鈴木商店部長	
B	3	鈴木久美		同令夫人
C	4	佐藤二郎		新郎の後輩
D	2	高橋三郎		新郎の伯父

- ① テーブル：新郎様側の席番Aから順番ABC～を選択してください。
- ① テーブル：新婦様側の席番aから順番abc～を選択してください。
- ② 席No.：上記の表を参考の上、テーブル内の配席を選択してください。
- ② 肩書き、肩書き選択：P.37、38を参考の上、肩書きを選択もしくは記入してください。

※会場ごとのテーブル配置やテーブルの着席可能人数はブライダルコーディネーターよりご案内いたします。
 ※完成したゲストリストをコーディネーターにお渡しください。おふたりの会場のテーブル配置表を作成し、チェックしていただきます。

親族

伯父・叔父・伯母・叔母の使い方は、ご両親様より年上の場合が前者、年下の場合はそれぞれ後者になります。新郎伯父・新婦叔母というようにお書きください。

(いとこ):従兄・従弟・従姉・従妹の使い方は、新郎新婦様からみて年上の場合は前者、年下の場合はそれぞれ後者となります。新郎従兄・新婦従妹というようにお書きください。

伯父(母) … 父母の兄(姉)

叔父(母) … 父母の弟(妹)

祖父(母) … 父母の父(母)

従兄(姉) … 年上の男(女)のいとこ

従弟(妹) … 年下の男(女)のいとこ

甥 … 兄弟・姉妹の男の子供

姪 … 兄弟・姉妹の女の子供

義兄(姉) … 姉(兄)のご主人(奥様)

義弟(妹) … 妹(弟)のご主人(奥様)

同令夫人 … 他人の奥様

同令息・同子息 … 男の子供

同令嬢・同息女 … 女の子供

再従兄弟(またいとこ・はとこ) … 父母のいとこの子供

※ご親族様については、社名・役職名を記入しないで、新郎伯父とか新婦兄というように、新郎新婦様との間柄のみお書きください。

※新郎新婦様のご両親様または親代わりの方には「様」をつけないようにしてください。

※親代わりの方の肩書きは、兄の場合は「兄」そのほかの場合はご本人との関係を書きます。

※新郎新婦様の兄弟姉妹の方が結婚し、姓が変わらない場合は「様」をつけません。

※新郎新婦様の兄弟姉妹の方が結婚し、姓が変わる場合「様」をつけます。

※祖父母の方については「様」をつける場合とつけない場合があります。ご両家様でご相談のうえ、統一してください。

※義伯(叔)父・義伯(叔)母の「義」はつけません。

※一般にご夫人は「同令夫人」とし、ご本人の実姉の方の場合は新郎(新婦)姉、義姉の方の場合は新郎(新婦)義姉と書きます。

※いとこの子供

両親出席の場合…同子息・同息女

両親欠席の場合…従兄(弟)の子息・息女

※ゲストのお子様には「ちゃん・くん」をつけます。

※ご媒酌人様が親戚の方の場合、特に肩書きは出さず、「ご媒酌人」のみ書きます。

来賓・友人

ご来賓の方々は、会社名・役職名などを書き、ご友人・同僚の方々は、新郎友人・新婦友人または新郎同僚・新婦同僚と書くのが一般的です。

株式会社 … (株)○○○○○

○○○○○(株)

社長 … 代表取締役

取締役社長

専務・常務 … 専務取締役

常務取締役

学生時代の先輩 … 新郎(婦)先輩

会社関係の先輩 … 新郎(婦)会社先輩

学生時代の友人 … 新郎(婦)友人

会社関係の友人 … 新郎(婦)同僚

※部長・課長など、社名・役職名など、可能な限り10文字×2行に収まるように調整してください。

※社名・役職名を記入の場合は、「新郎上司」や「新婦友人」といった肩書きの記載は必要ありません。

※新郎様側のご関係なのか新婦様側のご関係なのかがわかるようにしてください。(例:新郎の友人)

※肩書きを多く持っていらっしゃる上司の方は、ご本人と関係が一番近いものまたは最上級の肩書き(二つくらいまで)を書きます。

※上司の方が退職し現在他社に勤務していらっしゃる場合は現社名、現職名を書きます。

※上司の方が退職し現在無職の場合は、元上司または元職名を書きます。

※ご本人が退職され、在職中の上司をご招待される場合は現職名を書きます。

※会社の方でご本人より年齢がかなり上で管理職名を持っていらっしゃる場合は会社名(所属部まで)を書きます。

※ご本人の部下の方は会社名のみ書きます。

その他

※ご媒酌人様のほかに本当に縁を取り持っていた方がご出席の場合は新郎・新婦恩人と書きます。

※ご両親様のご媒酌人様をご招待する場合は父母媒酌人もしくは父母恩人と書きます。

※ご近所に住んでいらっしゃる親戚でない方の場合は父母友人または知人と書きます。

※お父様の会社の従業員の方をご招待する場合、役職のある方の場合は会社名と役職、役職のない方の場合は会社名を書きます。

※茶道・華道の先生をご招待する場合は○○○流師範と書きます。

※芸能人、アーティストなど新郎新婦様のご関係による方は「例:友人、歌手」と書きます。

※アルバイトをされていたときの上司の方は現職名を書きます。

※アルバイトをされていたときの先輩の方は、新郎(婦)先輩と書きます。

※司会者の肩書きは、司会者。もしくは実際のご関係を書きます。(例:友人)

※新郎(婦)様の恩師の方が現役の場合は現職名を、退職されている場合は恩師と書きます。

※来賓のお子様が出席される場合の肩書きは、年齢に拘らず令息、令嬢と書きます。

同令息・同子息…男の子供

同令嬢・同息女…女の子供

席次表肩書き参考表

伯父 伯母 叔父 叔母 従兄 従弟 従姉 従妹 甥 姪 親戚 隣人 義姉の父 先輩

同僚 恩師 後輩 新郎友人 新婦友人 同令夫人

※上記内容は、あくまでも慣習としてご説明したものです。ご参考にいただき進行がスムーズに行えば幸いです。なお、ご不明な点等がございましたらご相談ください。